

# 農 大 情 報

平成25年 2月号

編集発行：愛知県立農業大学校

## 雇用創出農業研修発表会

1月31日、雇用創出農業研修の受講者30名が、今後の就農への思いや経営について発表しました。

この研修は、農業経営の開始もしくは農業法人等への就職を目指す方を対象にして実施しています。露地野菜・小菊の栽培実習を主体に、先進的な経営・技術の視察、農産加工、土壌診断の実習、講義等充実したカリキュラムで、研修期間は160日です。

修了後は、露地野菜や果樹、花きを主体に農業を始める、農地を確保して新規に経営を始める、さらに技術を磨くために研修を続けるなどさまざまです。

まもなく平成25年度の受講生の募集を開始しますが、申込みは愛知県内の公共職業安定所を通じて行います。(石代正義)



## 海外派遣研修を無事修了

本年度の海外派遣研修は、1月26日(土)から2月2日(土)までの日程で、農学科2年生83名が参加しました。昨年度に引き続き、オーストラリアのシドニー郊外でのフ

ームステイを主体に、後半は農業関連施設への視察を実施しました。

中部国際空港を出発し、シンガポールを経由する空路で、ほぼ丸一日を要する長旅で、一時、体調を崩した学生もいましたが、無事に全員、早朝のシドニーに到着しました。

その日の午後からのファームステイは、シドニーから約60km北西に位置するホークスベリーに点在するホストファミリーに、数人ごとのグループに別れ、2泊3日の日程で分宿しました。

最初2日間は雨続きで、そのあとは一転して暑く日差しが強くなるなど、急変する天候のなかではありましたが、豊かな自然の中での農作業に汗を流すことができました。

片言の英語や身振りで意思疎通しながら、家族の一員として生活するなど、学生達にとって、大変貴重な体験となりました。

この後、農業関連施設の視察では、リンゴ園、鉢花農園、アンガス牛牧場、大規模な養液栽培野菜農家のほか、早朝のシドニー・フレミントン卸売市場、オーガニックファーム研修農場、ワイナリーを訪問しました。



学生は、説明者の話に熱心に耳を傾け、質問も活発に行うなど、実りの多い研修となりました。(鈴木敏之)

### 本校学生が国際農友会大会で抱負を語る

愛知県国際農友会は、農業者研修生海外派遣事業による海外研修の経験者で組織した団体で、農業研修生の海外派遣やアセアンからの研修生の受け入れ活動など行っています。第1期の海外派遣を行ってから今年で60周年を迎えたことを記念し、2月5日に大会が開催され、多くの会員が出席しました。大会行事の中で、平成25年度に派遣される第61期生の紹介があり、本校の2名の学生からも研修の抱負が語られました。1名は、農学科2年切花専攻の村田佳



祐君で15か月のアメリカコース、もう一人は同じく酪農専攻の齊藤慶子君でオランダ1年コースに参加します。研修の決意や心構えをしっかりと話し、会場からは応援や激励の言葉がかけられました。(山田 勝)

### 農業機械士研修を行いました

農業機械は高性能化が進み、高価になっ

ているため経済性を考えて使う必要があります。かつ、安全に使える人材が求められています。

県は、農業機械を効率的、経済的に使用して安全に作業できる農業者を農業機械士に、さらに専門的知識を有する農業者を指導農業機械士に認定しています。

平成25年 2月13日(水)~14日(木)に農業機械士、指導農業機械士を目指す34名(うち農大生が8名)が農業機械士等研修を受講しました。研修は、本校農業機械グループと農業経営課環境・植防グループの職員が講師となり、農業機械の構造・機能と取扱い、点検と簡易な修理、効率利用、作業安全、導入利用計画、農業機械と資材の管理などの学科に加えて、トラクタの始業点検、ロータリの脱着などの実習もあり、研修生は今までの知識の再確認に努めていました。

研修翌日の2月15日(金)に農業機械利用技能検定試験が行われました。受験者は研修で学んだことを思い出し、学科と実技の



試験に臨みました。試験の結果は3月中旬に受験者に通知されます。(福田充洋)

### 1年生の第1回合同就職相談会を開催

平成25年2月22日(金)に農学科及び研究科の1年生を対象として、平成26年度求人第1回合同就職相談会を岡崎キャンパスで

開催しました。当校に求人票等を送付していただいている会社等のうち相談会には、農業法人8社と農業関連会社等2社が参加し、学生は就職、一時就職、進学等の希望者62名が出席しました。

参加会社等から会社の概要や求める人材等について説明をいただいた後、各社別の個別会場に分かれて相談会を行いました。

学生の多くはこうした会社説明会への参加は初めてでしたが、具体的な業務内容や就職後の研修制度等を熱心に質問していました。これから就職活動を進める上で良い刺激となる機会でした。

本校では、これからも学生の個別相談の対応や進路セミナーによるスキルアップを図るとともに、5月には、第2回目の就職相談会を開催する計画です。

(中村哉志)

## ニューファーマーズ研修発表会

### ・閉講式

ニューファーマーズ研修は、新規に就農を目指す農家出身者や非農家の新規農業参入者を対象として営農の基礎的知識・技術習得のために実施する研修です。

2月25日、10か月に渡ったニューファーマーズ研修の終了に当たり、発表会と閉講式を開催しました。

12名に修了証が授与されました。これに先立ち、各研修生は、研修の一環としてパワーポイントを用いて、就農しようとした動機、経営改善に取り組んだプロジェクト結果、将来の目標等を発表しました。

研修生の経歴は様々で、新しい発想や視点で営農を考えている方が多くみられました。すでに、市町村が策定する農業関係の計画に位置づけられた方もあるなど今後の地域農業の担い手やリーダーとなる人材として期待されている状況がうかがわれました。

研修生は就農が決まっていることから、

研修後は農業改良普及課の支援・指導を受けることとなります。このため、農業改良普及課が研修生の募集や応募窓口となり、また研修の実施においても本校と連携しています。平成25年度の研修受講希望者は3月25日(月)までに受講申込書を農業改良普及課へお持ちください。

(石代正義)



修了証書が授与されました